

付属語 (二) 助詞と助動詞その二

組 番氏名

練習 傍線部の「の」と置き換えられるものを後から選んで答えなさい。

- ① この荷物は、君のだね。() ア こと
② 大声をだすのは厳禁だ。() ウ のようすの エ のもの

練習 ①⑤の「の」はどんな働きをしているか、後から選びなさい。

- ① 練習をやめるのは簡単だ。() ア 体言の代用
② 祖父の笑う声が聞こえる。() (「こと」「もの」に代えられる)
③ 自転車の荷台に結ぶ。() イ 連体修飾語を作る
④ 君のはそれだ。() ウ 主語を作る
⑤ ヒマワリの咲く季節になった。() (「が」に代えられる)

○副助詞 様々な語句につき、意味を付け加える。

例

英語は得意だ。
スキーも上手い。
明日こそ頑張る。
弟にまで笑われる。
パンしか食べない。
表門だけ開けた。
十分ほど歩く。
牡丹などが咲く。
何やら鳥がいるらしい。

傍線部例

意味の区分

限定

他に同類がある。

強調

極端な例

否定と呼応する限定

限定

およその程度

例示

不確か

これらの区分の
用語は参考書に
よって違います。

練習 次の各文の () にあてはまる副助詞を後から選んで答えなさい。

- ① 美術のほか技術家庭 () 得意だ。
② こんど () 絶対に成功させるぞ。
③ 午後五時 () に受付を済ませてください。
④ 一番好きな食べ物 () ラーメンです。
⑤ 次の列車に乗り () すれば、心配はありません。
⑥ 彼女 () ありかを知らないのだ。
⑦ 三人でクッキーを三つ () 分けた。
⑧ 知っている人はだれ () いませんか。
⑨ タマネギ () は好きになれない。
⑩ 学校から家までは、ほんの十分 () でした。

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
だけ	も	ずつ	ほど	こそ	まで	さえ	は	しか	か

○接続助詞 主に活用する語句につき、さまざまな関係で前後をつなぐ。

- 原因理由……から、ので、て(で)
条件……ば
同時……ながら、つつ
逆接……が、けれど(も)
- | | | | |
|---------------|-------------|-----------|-------------|
| 例 | 例 | 例 | 例 |
| 腹が減ったから飯を食べた。 | 食べれば、元気になる。 | 食べながら歩くな。 | 食べたが、まだ空腹だ。 |

練習 各文の接続助詞に傍線を引き、働きを後から () に選びなさい。

- ① 急いだが、間に合わなかった。()
② 安いので買おうと思う。()
③ 五時になればチャイムが鳴る。()
④ うれしいけれど、喜ばなかった。()
⑤ 嘘と知りつつうなずいた。()

エ	ウ	イ	ア
条件	同時	逆接	原因理由

○終助詞 文や文節の終わりにつき、意味や気持ちを付け加える。

☆終助詞はたくさんあり、また話し方で意味が変わることも多い。

例

明日は雨か。「疑問」の場合もあるが、「確認」の場合も。
食べるな。「禁止」の場合もあるが、「感動」の場合も。

か、の……疑問 な……禁止 かしら……疑問
よ……告知 ぞ……強調 なあ……感動